

報道関係各位

高知県との「協働の森づくり事業」から生まれたツアー
「日本最後の清流 四万十川 3日間」発売中
河口～源流まで全長 196 km を巡る、雄大な自然を学び感じるツアー

クラブツーリズム株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:岡本邦夫、以下クラブツーリズム)は、四万十川とその源流を知る旅「全長 196kmの天の川 日本最後の清流 四万十川 3日間」を8月5日(日)より実施しており、ご好評いただいています。

クラブツーリズムでは環境破壊が進む昨今、環境問題の重要性を認識し、平成19年に行った環境宣言を具体的に実行するため、「～旅と自然は、もっと仲良くなれる～まもろう、つくろう、伝えよう。につぼんの美しい風景」をスローガンに、環境にやさしく美しく、快適で健康が増進される観光地づくりを目指し活動しています。その取り組みのひとつとして高知県および高知県津野町と「協働の森づくり事業」の協定を本年3月に締結しました。日本最後の清流と言われる四万十川の源流点がある高知県津野町は総面積約200キロ平方メートルのうち、9割ほどを森林が占める町。まだまだ森林整備が行き届かない津野町の森林地区の一部を「クラブツーリズム 四万十源流の森」と名づけ、森づくり事業の一環としてヒノキの間伐作業の活動に取り組んでいます。

四万十の魅力に触れる本ツアーでは、全長 196 kmに及ぶ四万十川の河口域から源流域までを巡り、雄大にして美しい景観、鮎やうなぎといった清流が育んだ四万十川の幸を堪能していただくだけでなく、「クラブツーリズム 四万十源流の森」の見学や間伐材の加工体験(オプション)なども盛り込んでおります。四万十川の伝統漁法である「火振り漁」の見学や四万十川中流域に伴走するローカル列車「しまんとグリーンライン」へ乗車。地元語り部の方による津野町の歴史・伝説を聞きながらの夕食を楽しみます。また、満天の星空を観賞するスターウォッチングなどをはじめ、『選べる観光プラン』として、遊覧船乗船やカヌー体験、間伐材の加工体験、セラピーロードウォーキングなどの豊富なコンテンツを通じて、四万十の伝統・文化を学び大自然に触れ合う機会をご用意しています。



全長 196km に及ぶ四万十川



クラブツーリズム 四万十源流の森

◆本件に関する報道関係のお問合せ先

株式会社ブラップ ジャパン クラブツーリズム 広報担当:平井 隆介、菊池 洋平、中村 由帆

TEL:03-03-4580-9105 FAX:03-4580-9131 E-mail: club-tourism@ml.prap.co.jp

クラブツーリズム株式会社 広報担当:田中 貴、木村 佳世、吉田 孝行

TEL:03-5323-6875(月～金 9:15～17:30/土日祝除く) FAX:03-5323-6999 E-mail: ctpr@club-tourism.co.jp

1. 「全長 196kmの天の川 日本最後の清流 四万十川 3日間」ツアー概要

- (1) 出発日：2012年8月5日(日) (この日のツアーは終了しました)
8月26日(日)・9月6日(日)
- (2) 出発地：羽田空港発着
- (3) 旅行代金(大人1名)：49,800円(2泊3日 2～3名1室)
- (4) ツアー日程

1日目	羽田(9:25～10:35発)→高知＝四万十川河口(太平洋に注ぐ四万十川を見学)＝トンボ自然公園(世界初のトンボ保護区・四万十川水系の自然と生態を学ぶ)＝中村・新ロイヤルホテル四万十【限定】(泊) ※夜は四万十川の伝統漁法・火振り漁を屋形船から見学。船内にて四万十の鮎・うなぎ・川えび・あおさといった名産を含む郷土料理をご賞味ください。 －昼夕
2日目	中村(午前中は選べる観光プラン…①四万十川の流域を遊覧船に乗って見学船から沈下橋を見学②四万十川をカヌーに乗って体感/別料金2,500円)＝土佐大正→<JR予土線「しまんとグリーンラインに乗車」>→江川崎＝梶原町・神在戸(かんざいこ)の棚田＝津野町・高原ふれあいの家・天狗荘【限定】(泊)※地元の語り部さんによる津野町の歴史・伝説を聞きながらの夕食後、ホテル前に広がるスターウォッチング(雨天、曇り、満月時は除く) 朝昼夕
3日目	天狗荘(選べる観光プラン…①ホテル前に広がる間伐材のチップを敷き詰めたセラピーロードを散策・往復約2km、1時間②間伐材の加工体験)＝天狗高原＝クラブツーリズムの森「四万十源流の森」見学＝四万十川源流点(神秘的な不入山にある源流点を目指して散策)＝津野町(地場産品の買い物)＝高知空港→羽田(20:15～25着) 朝弁－

2. 8月5日出発のツアーにご参加いただいたお客様の声

- ・ 四万十川をじっくりめぐるとツアーで、自然に触れる機会が多く記憶に残る満足する旅だった。次回参加する際には実際に間伐作業を体験してみたい。(70代男性)
- ・ 単なる観光地めぐりではなく、四万十川の河口～源流まで見せるという企画が良かった。セラピーロードの散策をして自然保護の大切さを改めて実感した。(60代女性)
- ・ 地元の人の生活の様子と自然との関係を良く理解できた。(50代女性)
- ・ 地場の食材は何回食べても飽きないほど美味しく、自然の恵みがなせるものだと感じた。今度はもっと他の食材も味わってみたい。(70代男性)
- ・ 不入山にある四万十川の源流点への散策はなかなか出来ない体験だった。実際に森の中を自分で散策し、自然の再生の必要性を肌で感じる事ができた。(60代女性)

※「協働の森づくり事業」とは

環境先進企業と地域(行政)とが協働して「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取り組みを行うことで、現在手入の行き届かない状況となっている森林(人工林)の再生を進めることを目的とし、森林の手入れ(植栽、下刈り、間伐など)、CO2吸収量増加や保水力向上などを目指した森林の再生や企業関係者と地域との交流などの活動を行っています。